

Abstract

AROMA RESEARCH No.81(Vol.21 No.1)

アロマリサーチ誌にみる日本の香り

青島均

<要旨>

アロマリサーチ誌は、この20年間香りの機能性、効用と応用の学際的専門誌として、日本における香り研究の情報を提供してきた。今回「日本の香り」が特集される中で、茶やその香り、特にみどりの香りについてアロマリサーチ誌に掲載された記事をまとめた。茶自身は中国原産であるが、茶葉に含まれる青葉アルコールなどのみどりの香りは茶葉から見いだされ、その合成法の開発や生成機構の解明には、日本人が大きく寄与してきた。また、日本人は独自の茶道を確立し、茶は日常生活や文化に深く取り込まれている。茶やみどりの香りには様々な効果があり、実際に応用されている。香り、フェロモンや嗅覚系の研究で日本の研究者は多くの寄与をし、発刊後20年を越えたアロマリサーチ誌に研究内容を紹介してきた。そこで、それらを思いつくままにまとめた。最後に、香りの効果は嗅覚系を通した効果と一般的に考えられているが、体内に取り込まれての効果やプラーシーボ効果の可能性についての私見を述べた。

<キーワード>

香り、みどりの香り、嗅覚のしくみ、フェロモン、茶